

## 2026年1月30日、「省エネ診断結果報告会」を実施しました

「省エネ診断」の結果がまとまりましたので、診断結果報告会を開催しました。

報告書には21項目の省エネ施策案がまとめられており、リコージャパン(株)から詳細な説明がありました(当社主要製品であるレンガは、ガスを燃料とする焼成炉で製造されるため、当社独自の省エネ施策提案がいくつかありました)。

全ての省エネ施策を実行すると、初期投資も相応に必要ですが、現時点で明確になっている項目だけで年間数百万円のエネルギーコストの低減になることが分かりました。

ここでは21項目の省エネ施策案のうち、汎用性があり県内製造業者の皆さんにとって参考になりそうなものを下表にピックアップしました。



全10機のレンガ焼成炉

省エネ診断をもとにした改善施策提案	
<p>① 工場内装置に使用されているVベルトを省エネベルトに更新</p> <p>工場内設備のVベルト(モーター付近などで使用されています)を省エネベルトに更新することで、設備運転時の電力使用量を低減することができます。</p> <p>省エネベルトは、特殊なゴム材料やノッチ(切り欠き)形状が採用されており、損失トルクを軽減し、伝導効率を向上させます。</p>	
<p>② 待機電力の電源遮断</p> <p>長時間使用しない設備については、スリープ機能を活用するか、電源をオフにし(ただし立ち上げ時など障害が起きそうなものはメーカーに問い合わせが必要)、待機電力を削減しましょう。</p> <p>わずかな待機電力であっても、1日24時間365日通電していた場合は相応の電力消費につながります。</p>	
<p>③ コンプレッサーフィルターの清掃</p> <p>コンプレッサー排熱口(内部で発生する熱を排出する役割があります)のフィルターは、周辺の塵埃で汚れがちです。</p> <p>このフィルターを清掃すれば、内部の風通しを良くし(冷却を促し)、コンプレッサーの理論動力を低減することができます。</p>	 <p>※上画像はイメージです</p>
<p>④ 不在時の消灯・人感センサーの設置</p> <p>工場内非作業エリアでの消灯を徹底するには、人感センサーの設置が有効です(人の動き(熱の変化)を検知して自動で点灯・消灯する機能があります)。</p> <p>必要に応じ点灯することで、照明設備の電力使用量削減につながります。</p>	 <p>※上画像はイメージです</p>

報告を受けた当社からは、「受変電設備の力率改善」、「LPガス送気管の液化防止」など、投資型省エネ施策について詳細な質問がありました。

また設備メンテナンスなど、運用型省エネ施策には、当社職員で積極的に取り組んでいく旨の発言がありました。

次回は、この診断結果をもとに今後の取組計画の策定を支援する予定です。